

解答用紙

受験者 氏名	ムチヤン
-----------	------

受験者シールのバーコードシール
1枚をこの上に貼り付けてください。

32分

【設問1】 事例記録の中の「相談の概要」【略A】の記載に相当する、相談者がこの面談で相談したいことは何か。事例記録を手掛かりに記述せよ。

CLは、友だちと一緒に行きたいという理由で今の大学の社会学部に進学した。しかし、授業が楽しいという友だちの中で、自分が最も興味のある選択を失敗したという思いがある。そこで、これがどうしてなのかを「良いのか」悩んで相談に来た。

【設問2】 事例記録の【下線B】について、この事例を担当したキャリアコンサルタントがどのような意図で質問を行ったと考えるかを記述せよ。

- ① 中たたりと面談をおこなう事を意識して、特に前半部分はCLに内省してもらうための問をつくることだった。
- ② 後半意図性が不明確な質問でCLが首をかしげた部分があったが、こちらの聞き手側をうまく促した点。

【設問3】 あなたが考える相談者の問題(①)とその根拠(②)について、相談者の言動を通じて、具体的に記述せよ。

- ① 問題 (1) 進路の意志決定において、自分がどうしたいという判断基準が不明確な自己理解不足。(2) 進路選択に対する認識不足。(3) 将来どうなりたいのかという視点を持って進路選択できていない点。
- ② その根拠 (1) 理数系の勉強が楽しいと思っていたのに、友だちと一緒にいた事を判断基準にしていく。(2) 進路をリで決めていて、その後、4年間、専門的に学んでいく事に考えが及んでいない。(3) 社会学部のメジャー社会学科に友だちと一緒に行く事に重点を置いており、学んだ後どう取りかかろうかと考えている。

【設問4】 設問3で答えた内容を踏まえ、今後あなたがこのケースを担当するとしたら、どのような方針でキャリアコンサルティングを進めていくか記述せよ。

この後は向いていない気持ちを抱きながらも、その中で友だちと学んでこられた事を誇り、引き継ぎ信頼関係の構築を図る。(1) 大学を決める時の事を振り返り、進路の決定基準は何だったのか、今はどうなのかよく考えてもらう。(2) 社会学部のメジャー社会学科で学ぶ事、その後の進路について新しく学ぶ友だちの事も伺いながら、聞くべき事柄と将来の選択の関連性を改めて見直しもらう。(3) キャリアプランの作成を促し、20年後、自分はどうなっていたのか、先づきお話ししていたことがら、明確にしてもらう。以上から別の大学や学部への編入も視野に入れた、多くの選択肢の中から将来のキャリアプランを考えた意志決定ができる支援を図る。

注：解答用紙の裏面および行外に記述されたものは採点されません。